

## 令和2年度第1回文化財保護委員会次第

### 1 議 題

(1) 委員長（案）について

### 2 報告事項

(1) 曾本地区埋蔵文化財試掘調査結果について

(2) 令和2年度文化財保護関連予算について

# 1. 議 題

## (1) 委員長（案）について

(敬称略)

役 職	氏 名
委員長	長谷川 公茂

令和2年度から2年間、引き続き委員長を長谷川 公茂委員にお願いしたいと考えております。疑義のある場合は、意見書の提出をお願いします。

## 2. 報告事項

### (1) 曾本地区埋蔵文化財試掘調査について

#### 【調査概要】

江南市曾本地区の企業誘致予定地が二子山古墳、岩塚浦遺跡、榛原遺跡の埋蔵文化財の包蔵地となっていることから、開発中に埋蔵文化財が発見された場合、文化財保護法に基づき、工事を一度中断し、本格的な発掘調査を行う必要が生じる可能性があります。

そのため、今回の試掘調査は、埋蔵文化財の有無を把握し、より正確な事業スケジュールや事業費を算出するため実施したものです。

#### 【調査経過】

本調査は令和2年1月6日より開始しました。調査区域の北西側から南側へと調査を進めていきました。

1月21日まで調査を実施し、合計40か所の試掘調査を実施しました。調査地を北エリア、中央エリア、南エリアの3ブロックに分け、各試掘坑の調査結果について記しました。※各試掘坑のT(トレンチ)番号はP7参照

#### 1. 調査地北エリア

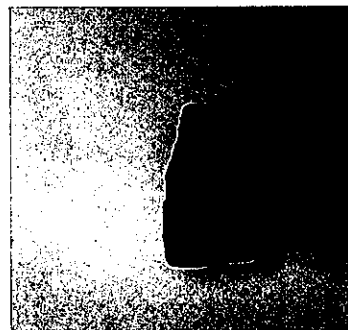
調査地北西端のT1からT10に試掘坑を設定して調査を行い、T1、T2、T6、T7、T8より遺構を検出しました。

#### 【T1】

黄色シルトを確認。遺物出土あり。



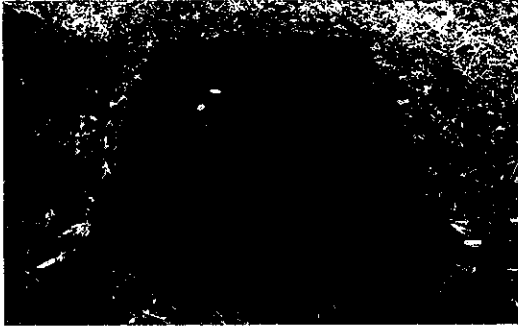
※シルトの特徴として粘土性の土で粘り気があり、堆積すると湿地をつくる特徴がある。



土師皿の小片

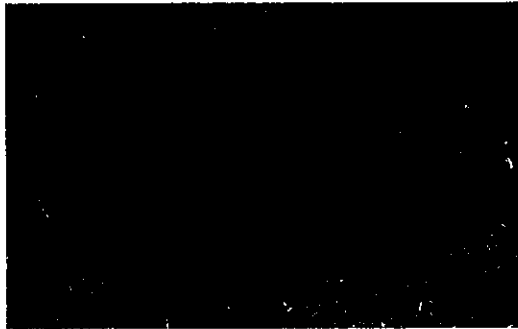
【T2】

黄色シルトを確認。遺物出土なし。



【T6】

黄色シルトを確認。土坑溝等検出。遺物出土なし。



土坑・・・人間が土を掘りくぼめてできたと考えられる穴で性格の見極めにくい遺構と判断された場合「土坑」として取り扱われる。

【T7】

河川堆積と考えられる黄色砂～中礫を確認。遺物出土なし。



【T8】

黄色シルトを確認。土坑を検出。



## 2. 調査地中央エリア

調査地中央エリアのT11からT24に試掘坑を設定して調査を行い、T12、T13、T14、T15、T17、T24より遺構を検出しました。

T15以西では河川に向けて落ち込んでいる状況から、遺跡はT17以東の小牧市側に広がるものと考えられます。T13では遺構面と認識できる堆積がみられ、断面にて竪穴状遺構とみられる遺構を確認しました。

### 【T12】

断面にて黒色粘質土が東側に落ち込む様相を確認。遺物出土なし。



※北壁断面 南より

### 【T13】

黄色シルトを確認。上層にて黒褐色粘質土を確認。南壁断面を確認したところ、黒褐色粘質土が15~20cmの厚さで堆積し、西端付近で立ち上がりを確認。遺物出土なし。



※南壁断面 北より

### 【T14】

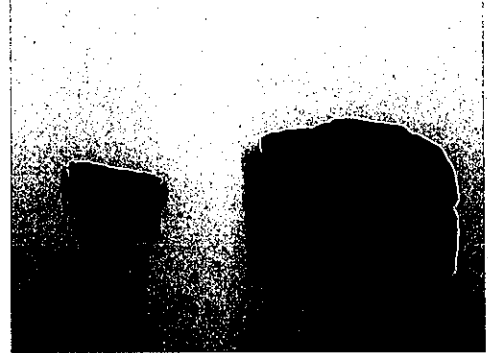
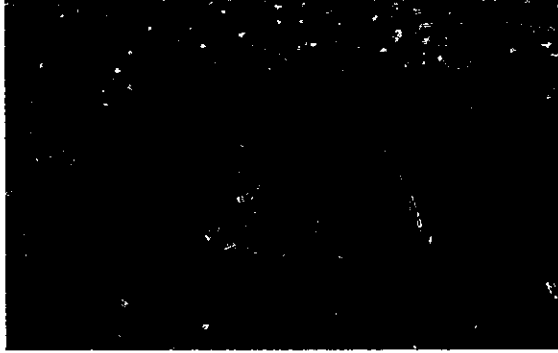
黄色シルトを確認。遺物出土なし。



【T15】

黄色シルトを確認。これまでの調査区の中では遺構密度が最も高く、上層では土器類を含んでおり包含層として認識ができます。

遺物出土あり。

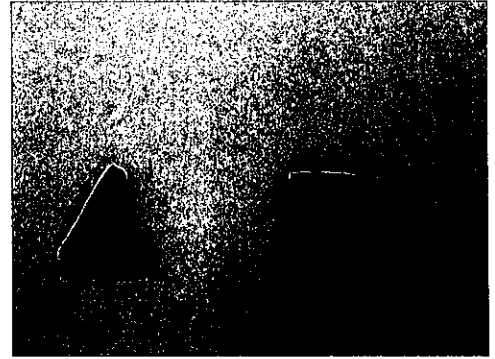
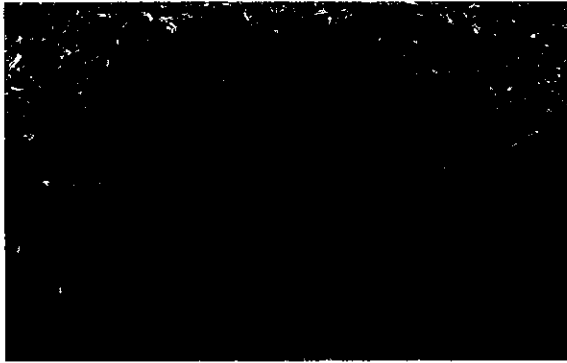


土師器小片、中世の陶器片

【T17】

黄色粘質土を確認。土は北側の調査区に比べ粘性が強かった。

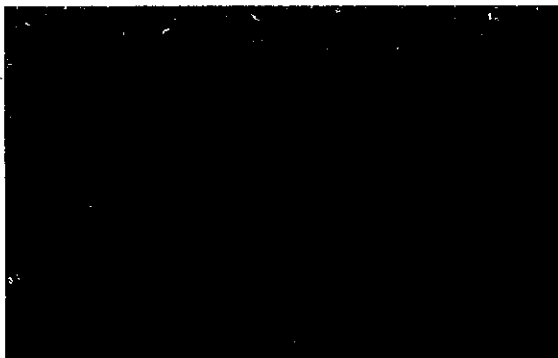
遺物出土あり。



山茶碗、陶器片

【T24】

灰黄色粘質土を確認。土坑等を検出。遺物出土なし。



### 3. 調査地南エリア

調査地南側のエリアで、周知の埋蔵文化財包蔵地である岩塚浦遺跡と榛原遺跡の範囲とされる場所です。T25 から T40 に試掘坑を設定して調査を行い、T26、T32 より遺構を検出しました。T32 からは近世期のものと思われる陶磁器類が出土しました。

#### 【T26】

灰黄色粘質土を確認。遺物出土なし。



#### 【T32】

床土直下で近世の遺物を少量含む遺物包含層を確認。  
その下の河川堆積層上面で近世の遺物を含む遺構を検出。



近世の陶器片

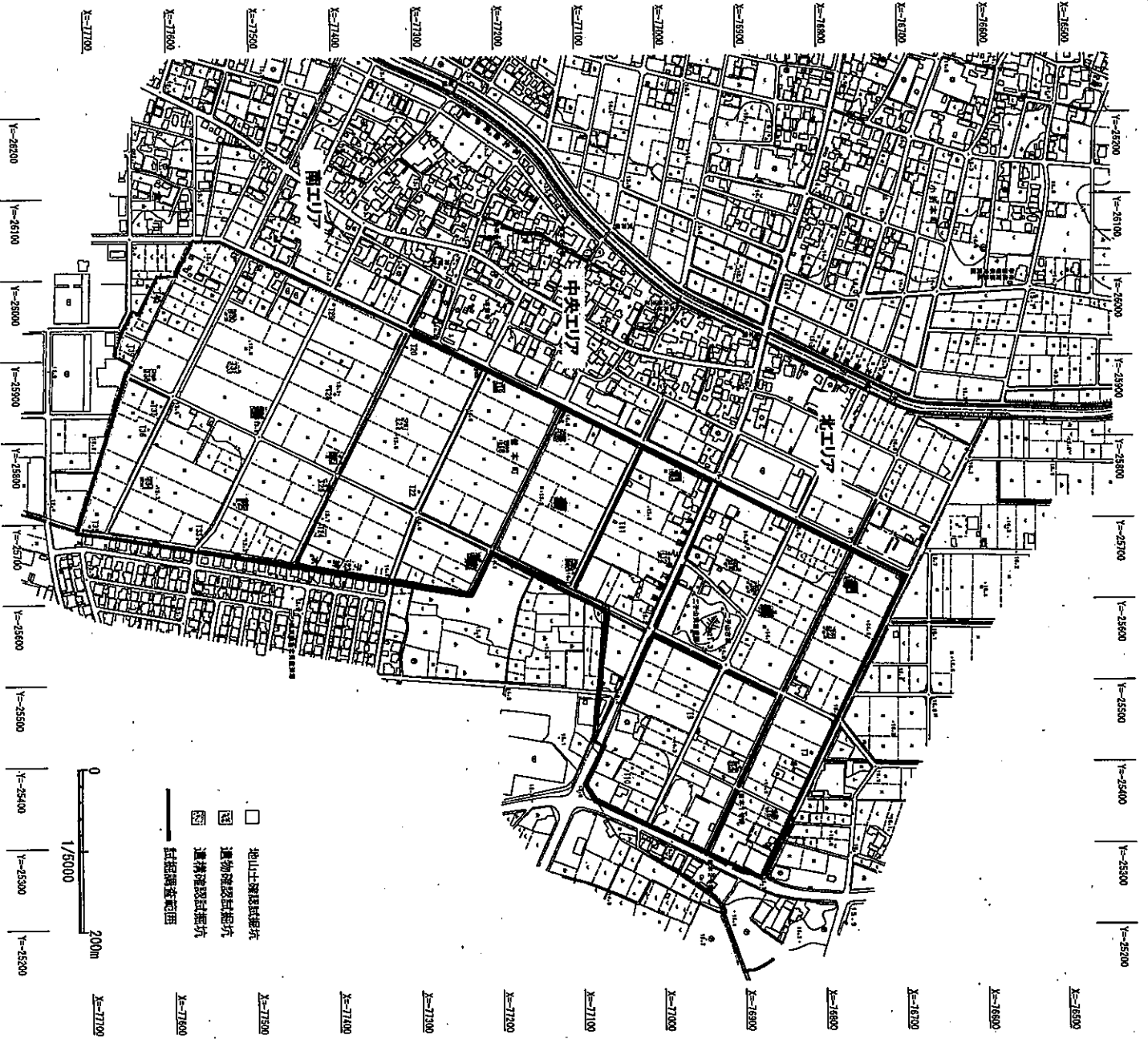
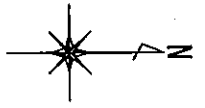
#### 【調査対象地のまとめ】

試掘調査の結果、調査地の北東部が微高地であり、その微高地に遺跡が展開している様子が判明しました。二子山古墳についてもこの微高地に立地しており、それに関連した同時代の集落が周囲に展開していると考えられます。

一方、調査地南西部は五条川に向けて落ち込む地形となっており、高台に近い部分では湿地帯が広がる状況を確認しました。その中で二子山古墳を中心とした調査地北部は古墳関係の遺跡、その南側では、遺物の出土量が少ないため不明ながら、山茶碗や中世の陶器片などの出土が認められたことから、古代末～中世の遺跡が広がるものと考えられます。

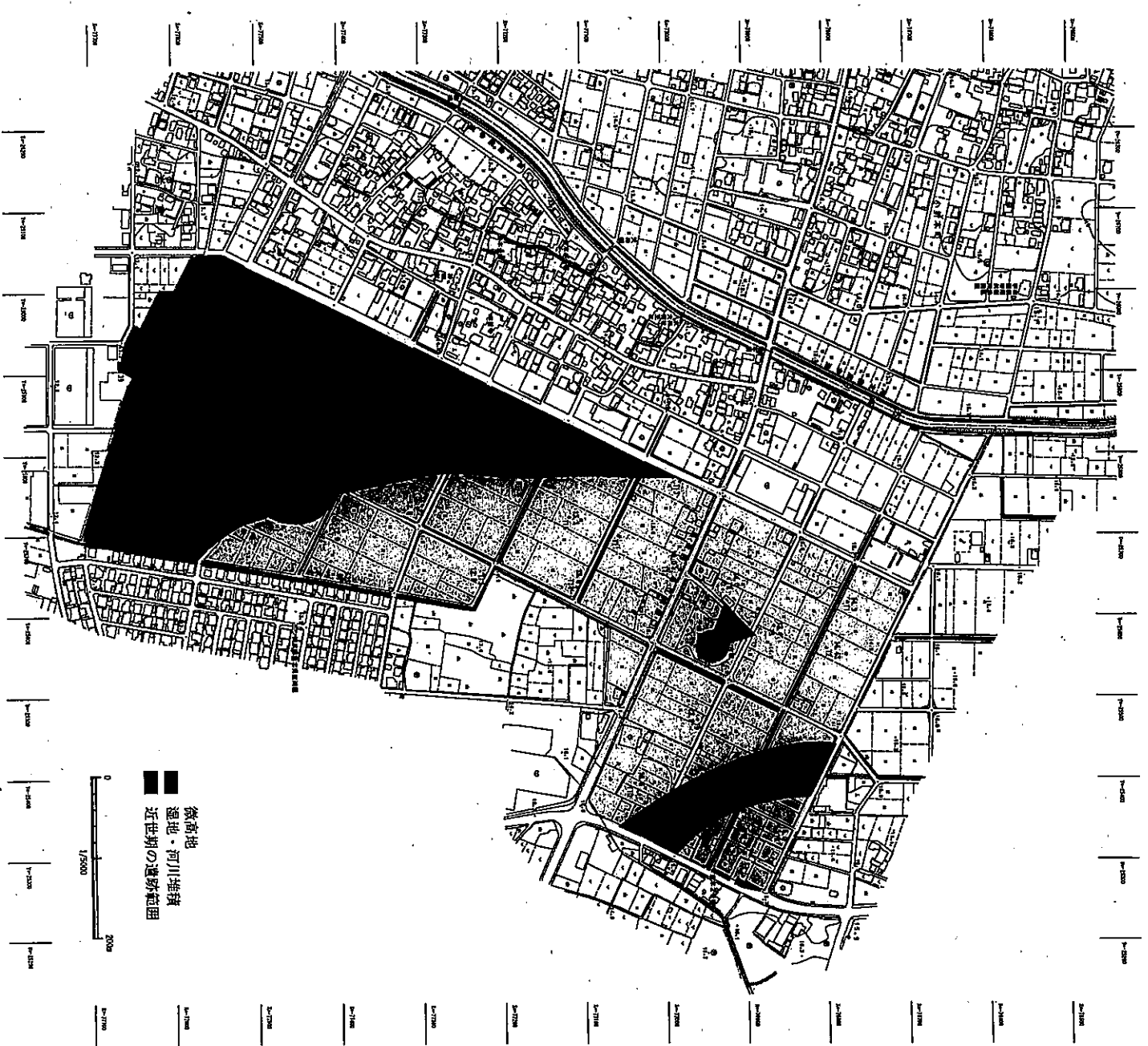
これらを再度まとめると、既述した微高地上に遺跡が展開しており、低地部分には近世期以前の遺跡は見られないという結果になりました。※詳細は P8 参照

また、今回の調査結果を愛知県文化財保護室へ報告し、新たな埋蔵文化財包蔵地として曾本二子遺跡が指定されました。※詳細は P9、10 参照



試掘坑配置圖



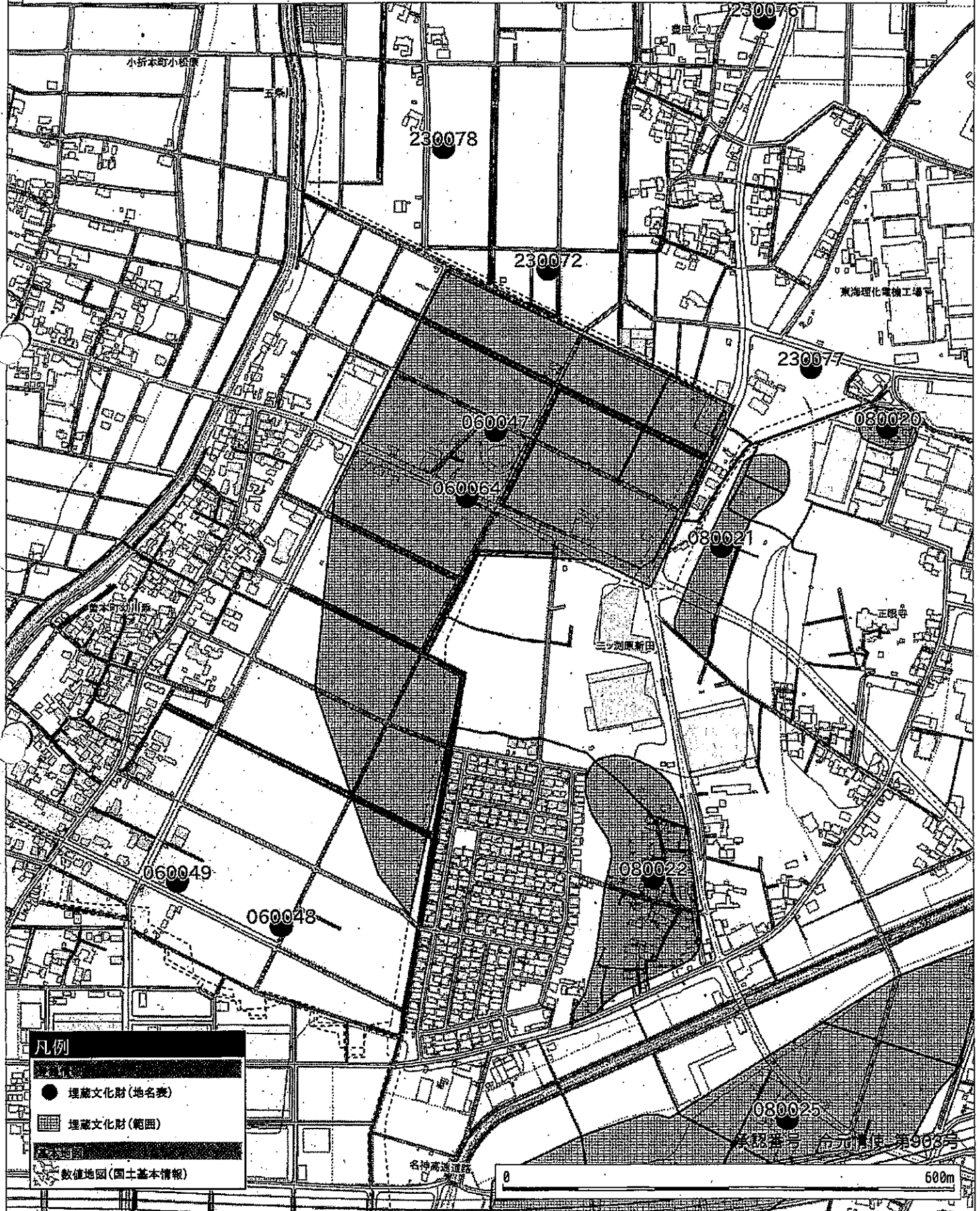


地形推定図

愛知県埋蔵文化財包蔵地台帳（新規記載・内容変更協議用）

遺跡番号	060064										
ふりがな	そもとふたご										
包蔵地名	曾本二子遺跡										
市町村名	江南市										
ふりがな	そもとちょうふたご										
所在地	曾本町二子										
現況	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 水田 <input checked="" type="checkbox"/> 畑地 <input type="checkbox"/> 山林 <input checked="" type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 荒蕪地 <input type="checkbox"/> 原野 <input type="checkbox"/> その他（ ）										
遺跡の種別・時代 該当欄に○を記入											
種別	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世	近世	近現代	不明	
集落跡				○	○	○	○	○			
貝塚											
官衙跡											
城館跡											
社寺跡											
古墳											
その他の墓											
窯業遺跡											
その他の生産遺跡											
祭祀遺跡											
遺物散布地											
その他の遺跡											
不明											
遺構	溝、土坑										
遺物	須恵器、土師器、山茶碗、中世陶器・近世陶磁器										
包蔵地概要	出土遺物は山茶碗が主体となる。 遺跡内に二子山古墳(060047)が所在。										
備考1											
備考2											
その他 参考事項	江南市教育委員会の試掘調査（2020年1月）により確認。										

# 愛知県文化財マップ(埋蔵文化財・記念物)室内用



**凡例**

- 埋蔵文化財(地名表)
- ▨ 埋蔵文化財(範囲)
- 数字地図(国土基本情報)

## 2. 報告事項

### (2) 令和2年度文化財保護関連予算について

#### 【指定文化財等管理】

・ 史跡案内看板修繕料 (宮後城跡)	135,300円
・ 樹木桜剪定手数料 (木曾川堤(サクラ)等)	1,072,000円
・ 樹木消毒委託料	60,000円
・ 富士塚除草委託料	128,000円
・ 宮後城跡地除草委託料	16,000円
・ 史跡説明板敷地借上料	21,000円
・ 試掘調査用機器借上料	94,000円

#### 【負担金補助及び交付金】

・ 愛知県史跡整備市町村協議会負担金	15,000円
・ 文化財保護助成金	289,000円

#### (参考) 令和元年度文化財保護関連決算について (抜粋)

#### 【指定文化財等管理】

・ 樹木桜剪定手数料 (木曾川堤(サクラ)等)	689,520円
・ 富士塚除草委託料	50,946円
・ 試掘調査委託料	4,345,000円※9月補正
・ 史跡説明板敷地借上料	20,244円

#### 【負担金補助及び交付金】

・ 愛知県史跡整備市町村協議会負担金	15,000円
・ 文化財保護助成金	289,000円
・ 文化財保護助成金 (天然記念物 いちいがし修復(八劔神社))	151,000円※6月補正
・ 宮後八幡社本殿保存修理工事費補助	2,378,000円